

保証時報 12

2025

Vol.773

Amagasaki City



P 01 信用保証協会ニュース

- 「2025 ひょうご信用創生アワード」を開催しました
- 年末の資金繰りは、信用保証協会へご相談ください
- 年末年始の営業について
- 「あまがさき産業フェア2025」に出演しました
- 「BCP(事業継続計画)研修」を受講しました
- 当協会のSDGsトピックス

P 05 金融機関インタビュー

P 07 未来にチャレンジ ひょうごビジネスFile

株式会社フィジカル・アイ

P 06 私たちのふるさと 兵庫の誇り ひょうご芸術散歩

P 09 保証状況



LINE

X

Instagram

News

01

「2025 ひょうご信用創生アワード」を開催しました

11月6日、ラッセホールにおいて「2025 ひょうご信用創生アワード」を開催し、110名の方にご参加いただきました。

本アワードは、当協会が事務局を務める「兵庫県地域支援金融会議」主催のもと、同会議の参加機関等から金融・経営支援を受け、優れた成果を上げた事例を顕彰し、金融機関・支援機関や事業者の皆さまと共有することで、兵庫県経済の発展につなげていくことを目的に開催しており、今回で6回目となります。

当日は、事前選考により優秀事例に内定した6事例のプレゼンテーションが行われ、最終審査を経て、最優秀事例を決定しました。また、SDGs達成に資する優れた取組を行っている事例に選考委員特別事例(SDGs部門)を授与しました。

さらに、今回は惜しくも優秀事例には選出されなかったものの、選考委員から高く評価された取組事例を入選事例として表彰しました。



「2025 ひょうご信用創生アワード」選考委員

- ・家森 信善 氏(神戸大学経済経営研究所教授・同地域共創研究推進センター長)
- ・中村 浩明 氏(兵庫県産業労働部次長)
- ・植田 訓行 氏(兵庫県中小企業診断士協会会长)

最優秀事例

- 受賞者 ヘルスプロダクト(株)、尼崎信用金庫
- 事例 ~創業期より連携する支援機関が一体となって
伴走支援を実践し「つながりの輪」によって
ESGの取り組みが促進した事例~

取組事例の概要

平成30年に障がい者向けグループホーム事業を創業。同グループホームは関西で初めて保護犬を活用したアニマルセラピーを導入した施設。創業期から、尼崎信用金庫、尼崎市、尼崎商工会議所が連携し、資金調達支援や販路開拓などの伴走支援を実施。近年は、尼崎市の紹介で地元の渡船業者と相談し、フィッシュシェアリングという活動の一環として、地元の釣り人から寄付された魚のうち、可食部を地域の子ども食堂へ提供し、残った部分を譲り受けて無添加の犬猫用魚おやつを製造することで、「命の循環」を実現している。さらに、就労継続支援B型事業所を設立し、障がいの方々が製造から販売までのすべての過程に関わることで、社会参加と自立を支援。

保護犬猫を活用したグループホームの運営は、代表者が行っていた保護犬猫活動における費用面・収益面の課題を克服し、社会的課題の解決と経済的持続性を兼ね備えた事業モデルを確立。同社の地域・福祉・動物保護を掛け合わせた取組と、支援機関のつながりの輪によって、地域におけるESG推進活動が実現した事例。

選考委員の講評

- 創業期からの行政・民間・金融の三位一体伴走が、社会的意義を備えた取組を持続可能な事業として確立・展開する上で大きく寄与している。
- 社会課題の解決と事業性の両立という経営者の夢を実現したESG金融の好事例として高く評価できる。



プレゼンテーションで使用した資料の抜粋

選考委員特別事例

SDGs部門



■受賞者 (株)ハヤブサ、兵庫県信用組合

■事例 若年層を釣りの世界へ～地方創生を担う廃校活用支援プロジェクト～

取組事例の概要

昭和34年に釣具事業を創業。国内釣仕掛市場においてシェアアップを誇る。その一方で、釣り人口の減少と高齢化による市場縮小リスクに直面し、釣り文化の承継や地域活性化を目指して、廃校を活用した釣りテーマパークを開業。兵庫県信用組合は、産学連携支援や事業計画のプラッシュアップを支援。雇用創出や観光誘致など多面的な地域貢献を実現した事例。

選考委員の講評

- 支援機関は補助金に関する助言、大学との連携提案及び橋渡しなど非金融の充実した支援を行った。
- 地域資源に新たな価値を見出し、教育交流要素が地域創生モデルとなる事例として評価できる。

優秀事例



■受賞者 ジェイ・トレイ(株)、
日新信用金庫

■事例
「ALLWAYS TRY」急拡大する成長期企業～にっしんの担う「トレイ」の役割～



■受賞者 宮栗メイプル(株)、
西兵庫信用金庫、
兵庫県信用保証協会

■事例
社長の郷土愛が経営改善の連鎖を引き起こし、
地域貢献にまで発展した事例



■受賞者 (株)藤本林業所、
中兵庫信用金庫

■事例
異業種企業同士の出会いと
新製品共同開発のサポート



■受賞者 (名)アリモト、
姫路信用金庫

■事例
持続可能性を高める伴走支援と
地場産業の活性化に向けた
点から面への支援の拡大

入選事例

■受賞者 姫路灘菊酒造(株)、
但陽信用金庫

■事例
経営陣・従業員一体となった課題共有による
経営改善支援への取組み

■受賞者 三伸工業(株)、
商工組合中央金庫

■事例
社長の夢実現、円滑な
次世代への承継に向けた
事業承継支援

■受賞者 戸崎産業(株)、
商工組合中央金庫

■事例
【企業価値向上に向けた
伴走支援】～サステナブル
塗装で世界を彩る～を
全世界へ発信

■受賞者 (株)イーエスプランニング、
神戸信用金庫

■事例
「地域の経済は地域で回す」
神戸大学との共同研究に基づく新たな駐車場の活用

(敬称略)



全体講評

神戸大学経済経営研究所教授・同地域共創研究推進センター長 家森 信善 氏

いずれの事例でも共通しているのは、事業者の強みと弱みを深く理解し、伴走支援されていることです。金融的な支援にとどまらず、本業そのものをいかに良くしていくかに支援機関の皆さんのが尽力されていることがよくわかります。

令和7年5月の「新しい資本主義実現会議」において、金融担当大臣が地域経済を支える地域金融力の強化を図る方針を示されました。地域金融力とは、地域が持続的に発展していくために、資金供給にとどまらず、M&A支援、人材支援、DX支援、経営改善支援、海外進出支援などを通じて地域企業の支援を後押しし、地域全体の付加価値を高める力あるいは地域経済に貢献する力であると定義されています。私が座長を務める金融庁の「地域金融力の強化に関するワーキンググループ」では、地域金融力が発揮された本日発表の事例を参考にして、議論を進めてまいりたいと思います。

「2025ひょうご信用創生アワード」の開催にあたり、多数のご応募をいただきました。日々のお忙しい時間を割いてご応募いただいたこと、心より感謝申し上げます。当協会では、今後もひょうご信用創生アワードなどにより、経営支援の横展開を行い、事業者への金融、経営の一体支援を強化し、地域経済の活性化に取り組んでまいります。当日の様子については、当協会のYouTubeチャンネルで期間限定のアーカイブ配信を行っておりますので、ご覧ください。また、後日、開催報告書の作成を行いますので、ご希望の方は以下の連絡先へお問い合わせ下さい。

お問い合わせ先

「ひょうご信用創生アワード実行委員会事務局」(兵庫県信用保証協会内)

(TEL) 078-393-3920 (FAX) 078-393-3980





[年末の資金繰りは、信用保証協会へご相談ください]

資金需要が高まる年末を迎えるに当たり、兵庫県信用保証協会では以下をはじめとするさまざまな保証制度等を用意し、中小企業・小規模事業者の皆さまの資金繰りに支障が生じないよう的確な支援をします。ぜひ、ご相談ください。

経営課題解決に取り組む事業者を対象とした制度

- 経営課題解決への取組を後押ししてほしい
- 国による保証料補助を受けて資金調達したい

兵庫県融資制度「協調支援型特別貸付」

[対象] 次の①②のいずれかに該当する方

- ①申込金融機関から本制度による保証付き融資の実行と原則同時に本保証付き融資額の1割以上（融資期間12か月以上）のプロパー融資を受ける方
- ②申込金融機関の支援を受けつつ、自ら経営行動計画の策定ならびに計画の実行および進捗の報告を行う方

[資金使途] 運転資金、設備資金 [保証限度額] 2億8,000万円（組合4億8,000万円）

[保証期間] 10年以内（うち据置期間1年以内（設備資金および運転設備資金3年以内））

[特長] 今年度は、対象①に該当する場合、国から1/2相当額の保証料補助、

対象②に該当する場合、国から1/4相当額の保証料補助あり

事業計画に基づき経営の改善・強化を図る制度

- 事業計画に基づき、計画的に資金を調達したい
- 金融機関等によるモニタリングや経営支援を継続的に受けたい

兵庫県融資制度「経営力強化貸付」

[対象] 金融機関および認定経営革新等支援機関の支援を受けつつ、自ら事業計画の策定ならびに計画の実行および金融機関への進捗報告を行う方

[資金使途] 事業計画の実施に必要な資金 [保証限度額] 2億8,000万円（組合4億8,000万円）

[保証期間] 運転資金5年以内（うち据置期間1年以内）、設備資金：7年以内（うち据置期間1年以内）

※ 保証付きの既往借入金を借り換える場合：10年以内（うち据置期間1年以内）

[特長] 通常の保証料率よりも一区分低い料率が適用（原則）、セーフティネット保証（5号）の利用が可能

兵庫県による保証料補助の取扱期間が終了間近です

上記の兵庫県融資制度「協調支援型特別貸付」「経営力強化貸付」について、米国関税措置の影響を受けた、または今後影響を受ける見込みである方を対象として、**兵庫県から各制度融資額3,000万円を上限に保証料が補助（保証料の概ね1/4）**されます。<保証料補助要件等確認書の提出が必要>

この取扱期間は「**令和7年12月26日協会保証申込受付分まで（令和8年1月末日融資実行分まで）**」となっておりますので、ご利用を検討されている方はお早めに保証申込していただきますようお願いいたします。

※ 上記は制度の概要であり、詳細については各事務所・支所までお問い合わせください。

ご案内

年末年始の営業について

令和7年 12月26日（金）まで通常営業を行います。

(令和7年12月27日（土）から令和8年1月4日（日）まで休業します。)

令和8年 1月5日（月）から通常営業を行います。

年末は、保証申込が増加し、受付が混雑することが予想されます。年内に資金が必要な場合は、お早めに保証申込していただきますようお願いいたします。

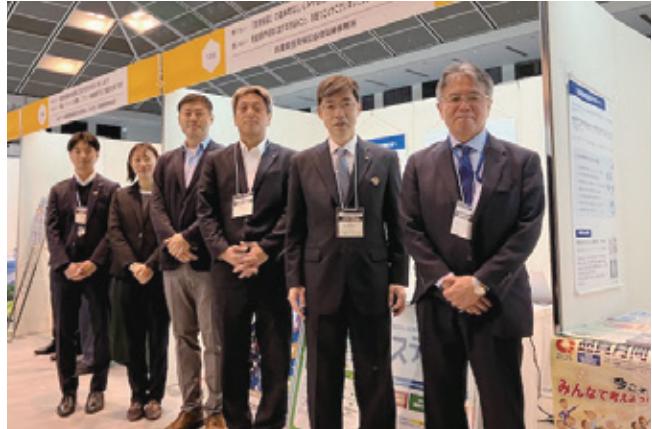
News

02

「あまがさき産業フェア2025」に出展しました

11月20日、21日の2日間にわたり、尼崎市のペイコム総合体育館において、「あまがさき産業フェア2025」が開催されました。

当協会においても、多くの方々に保証協会の業務内容をご理解いただくため、ブースを出展し、信用保証の仕組みや各種保証制度のご案内を行いました。



News

03

「BCP(事業継続計画)研修」を受講しました



10月24日、ミネルヴァベリタス株式会社の松井 裕一朗氏を講師にお迎えし、「BCP(事業継続計画)研修」を受講しました。

事業継続の基礎知識やBCPの必要性・重要性について、役職員が理解を深める貴重な機会となりました。

今後も、事業者の皆さんにBCP策定を促し、自然災害などの緊急時にも事業を継続できる体制づくりを支援してまいります。

当協会の

SDGs トピックス

「2025年度 秋季クリーン作戦」に 参加しました

10月16日、旧居留地連絡協議会が主催するクリーン作戦が行われました。

この活動は、旧居留地で働く方々が協力して清掃活動を行うもので、年に数回実施されています。

旧居留地に本所ビルを有する当協会も、この活動に毎回参加し、美しい神戸の街並みの維持に貢献しています。

今後も、このような活動を通じて、SDGs達成に向けた取組を進めてまいります。



SUSTAINABLE
DEVELOPMENT
GOALS



本取組がSDGs達成に
繋がるゴール



ようこそ当店へ



data

神戸信用金庫 板宿支店

〒654-0012 神戸市須磨区飛松町1-1-6

☎ 078-732-4411

▲ 神戸信用金庫 板宿支店

支店長 宮倉 康文 様

※ 2025年10月時点／現・北野法人営業部長

question

1 貴庫の歴史や地域の様子について教えてください

神戸信用金庫は1933年9月に設立されました。板宿支店の開設は1954年4月で、今年71周年を迎える歴史のある支店です。板宿支店があるエリアには板宿商店街を中心に大型商業施設があり、買い物客で賑わう人情のまち。さらに私立中学、高校が集まっている文教地区もあります。

question

2 地域とのつながりを大切にするために取組んでいることを教えてください

板宿駅から北方に板宿八幡神社という由緒正しい社があります。毎年5月、同神社の春期例大祭があり、板宿支店の有志が御神輿担ぎに参加させていただいています。御神輿が神社を出発して板宿商店街や近隣を練り歩く同大祭は、地域のみなさんの爽やかな笑顔に出会える素晴らしい機会です。

question

3 保証協会の融資商品で実現できた企業支援、経営サポートを教えてください

2025年6月、内装工事の事業者様が、「事業が拡大して借入が増えたため、今後の返済や経営について相談したい」と来店されました。まずは事業者様にとってのベストソリューションの提供を目指すべく経営アドバイスに取組み、拡大した事業規模に相応しい税理士を紹介しました。さらに、今後の発展のためにすべきことをアドバイスさせていただきました。私たち神戸信用金庫の社会的使命や役割を踏まえて、言いにくいことも誠意をもってお伝えしたところ、「経営は真剣勝負。今まで曖昧にしていたことが整理できた」と喜んでくださいました。その後、経営の柱をより強固とする事を目的に、短期資金を継続して融資する短期継続保証「たんけい」の導入を勧めました。この事業者様は内装工事業だけでなく、他業種も経営されています。「これからも新事業にも積極的に取組みたい」と意欲を見せてください、「私たちも事業者様の心に残るさらなるサポートを」と気持ちを引き締めました。

宮倉支店長

「イチ推し！職員」



笑顔を絶やさず優しい雰囲気ながら、支店の役に立つことを一番に考えて頑張っている融資係の吉良 光太郎さんを紹介します。

2023年に入庫した当初は預金係を担当し、お客様の大切な預金を扱う責任を痛感しました。現在、融資係として書類を作成し、融資のスムーズな実行を実現するための調整などを担当しています。近々、営業係に異動する予定です。そのためお客様の所へ出向き、提案や交渉を行うための勉強に取組んでいます。同期から、営業職の面白さとともに厳しさについても聞いており、期待と緊張を感じながら勉強に励んでいます。覚えることが多く、大変なことが多いのですが、8月に結婚をしたため家族を護るためにも頑張りたいと思います。ストレス解消はキャンプです。他支店に配属されている同期たちと仲が良く、頻繁にキャンプに行っています。仕事も遊びも全力で取組む仲間と出会えたことに感謝するとともに、改めて神戸信用金庫に就職して良かったと思っています。

板宿支店
吉良 光太郎 様



私たちのふるさと

兵庫の誇り

尼崎市編

尼崎を代表する芸術文化の活動拠点

尼崎市総合文化センター



展示室などがある文化棟とホール棟で構成した芸術文化の活動拠点。尼崎出身で世界的に評価された抽象画家 白髪一雄の記念室があります。

※2026年4月から耐震化工事のため2031年まで長期休館の予定。中ホールは通常通り営業。



尼崎市立歴史博物館あまがさきアーカイブズ所蔵
本府地域写真集刊行実行委員会寄贈写真

重要文化財、指定文化財の宝庫

尼崎寺町

阪神尼崎駅南西に位置する寺町です。1617年、尼崎城築城の際、地域の寺院を集めたことが町の成立立ち。国指定の重要文化財、県や市の指定文化財の宝庫として知られています。現在、11の寺院が軒を連ね、かつての趣を今に伝えています。



工場跡地を有効活用した憩いの場所

尼崎の森中央緑地

製鉄会社の工場跡地に約13万本の苗木を植えて森づくりをする公園です。豊かな緑にさまざまな生物が集う安らぎの森が育っています。



阪神事務所

〒660-0881 尼崎市昭和通3丁目96

尼崎商工会議所会館3F

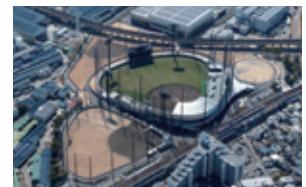
TEL 06-6411-4133

街中の安らぎスポット

近松公園



池やせせらぎ眺めながら散策が楽しめる回遊式の公園。江戸時代の人気脚本家近松門左衛門の菩提寺である広済寺に隣接していることから近松公園と名付けられました。



阪神タイガース二軍の本拠地

ゼロカーボン ベースボールパーク

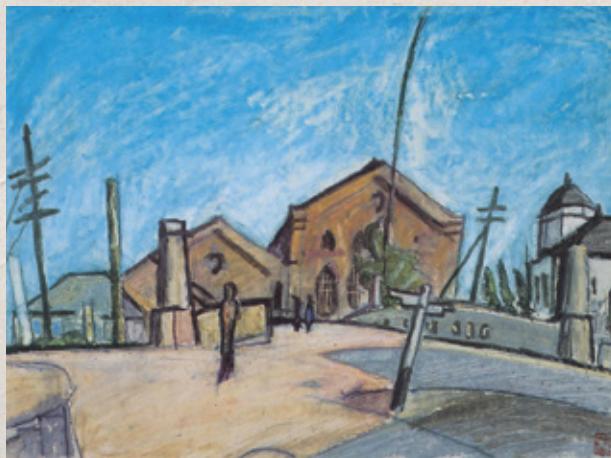
2022年、環境省が「第1回脱炭素先行地域」として選定したエリアを整備し、2025年2月に完成。エリア内には阪神タイガース二軍の専用球場があります。

江戸時代初期に築城され、明治維新で取り壊された尼崎城の天守閣を市民の力で再現

尼崎城

江戸時代初期に築城され、明治維新で取り壊された尼崎城の天守閣を市民の力で再現。「鉄砲体験」や侍、忍者の扮装を楽しむ「なりきり体験」などのコーナーもあり、人気の観光スポットです。

ひょうご 芸術 散歩



1948年／尼崎市蔵

兵庫県の風景を描いた芸術作品と作者を紹介する「ひょうご・芸術散歩」。今回は、尼崎を流れる庄下川の風景を描いた《尼崎庄下川阪神尼崎》と、作者の白髪一雄画伯を紹介します。

現実の風景から異世界へと誘う 《尼崎庄下川阪神尼崎》

庄下川に架かる庄下橋とかつてあったレンガ倉庫を描いた風景画です。白髪画伯の身近な風景を描いていますが、強い日差しに照らされた街には静けさが漂い、描かれた人物は静止した時間に閉じ込められたかのように見えます。具象と抽象を飛び越えた作品は、現実の風景から異世界へと誘う入り口であるかのように観る人を誘います。

白髪 一雄 しらが・かずお 1924年～2008年

尼崎市出身。大学で日本画を学んだ後、洋画に転向したが既存の表現に飽き足らず、1950年代後半、天井に吊るしたロープにつかり、床に広げたキャンバスに縦横無尽に足で描く「フット・ペインティング」を編み出し、国際的な評価を得た。



フット・ペインティングで描いた
『天女の舞』
1999年／尼崎市蔵



健やかな毎日こそ宝もの。

身体と心の健康づくりの拠点として存在感を発揮する

» 地域の健康づくりの拠点「いさお整骨院」

男性81.09年、女性87.13年。これは厚生労働省が発表した、2024年時点の日本人の平均寿命だ。平均寿命の国際比較において男性は世界6位、女性は世界1位で、女性は40年連続世界1位を維持している。とはいえたままでいる人も加算されていることは言うまでもない。このようななか健康で生き生きとした暮らしができる年齢を示す「健康寿命」が注目されている。日本人の健康寿命は男性72.57年、女性75.45年。平均寿命との差は男性が8.52年、女性は11.68年だ。いかにして健康寿命を延ばすのか。これが現代人の課題といえる。

株式会社フィジカル・アイは、身体の痛みを改善する「いさお整骨院」を軸にフィットネスジム、エステティック、サウナ、カフェを展開し、地域の健康づくりの拠点として存在感を発揮している。代表はいさお整骨院院長の足立 勲さんだ。

» 「身体と心の健康づくり」を軸に多角経営に乗り出す

足立さんが整骨院を開業したのは2008年のことだった。高校時代に野球で骨折し、リハビリで出会った整骨院の先生の技術に感動し、整骨院開業を夢見て大阪で国家資格取得や修行を終えて丹波に帰って来たのだという。丹波で開業したのは、生まれ育ったふるさとが大好きだから。丹波市には多数の整骨院があるが、スポーツ経験のある若い院長とスタッフで構成した整骨院は少なく、注目された。

「経営は順調でしたが、ある日、患者さんは不調が解消すると来院しなくなると気づきました。患者さんが通い続けたくなることを考えなければと思いました」。

試行錯誤の末、2017年、体力づくりや健康増進を考える人をターゲットとしたフィットネスジムを開業。トレーナーが利用者にあった運動を指導するスタイルで展開したところ、「楽しみながら健康づくりができる」と人気を博した。その後2019年、「健康づくりは栄養管理が基本」と、酵素ドリンクなどの販売をスタート。さらに2020年にはリラクゼーションを通じて心の健康づくりを実現する

エステティックとヘッドスパを開業した。また、2023年には、プライベートサウナを開業。理由は、足立さんが「サウナが好き」だから。この頃、世間ではサウナが流行っていたことも後押しになった。足立さんの“好き”が高じて、2024年にはカフェ「焙煎所 豆 labo」をオープンさせている。

「コーヒーが好きなので、本当に美味しいコーヒーを多くの人に知ってもらいたいという思いがあり開業しました。毎日の暮らしのなかで美味しいコーヒーで一息つく時間があれば心の健康づくりにつながります。とはいって豆の焙煎は職人仕事で難しい。そこで、正しく操作をすれば職人顔負けの焙煎ができる焙煎機を導入しました。国内に一機しかない貴重な焙煎機です」。

» 各人の技術がものをいう 「属人性の強い分野」と人を選ばない 「属人性を排除した分野」で展開

多岐にわたる事業を展開しているが、整骨院での施術、フィットネスジムのトレーナー、健康食品の販売、エステティックのように各人の個性や経験がものをいう属人性の強い分野とサウナ、コーヒー豆の焙煎のように高機能の機器を導入すれば展開ができる属人性を排除した2つの分野に分けることができる。健康づくりを軸に新規事業を展開するなかで、属人性の強い事業だけでは経営効率が悪いことに気づいたのだという。だからこそコーヒー豆の焙煎機は、自動で職人のような焙煎ができる最高級品を導入した。

また、これらの店舗を同じ敷地内で展開していることも経営の効率化につながり、良い結果を生んでいる。

「整骨院を開業する際、土地を購入して整骨院を建てました。ジム開業の際には建物を拡充し、その後、2階にエステティック、屋上にサウナを設置しました。『豆 labo』の建物は、敷地内に新築しました。今、敷地は1000坪になっています」。

「豆 labo」の場所はメイン道路に面している。メイン道路に面することで看板が目にとまりやすく、車の出入りもスムーズになる。この効果を見越していた足立さんは、長年、地主に交渉して購入にこぎ着けて「豆 labo」をオープン。

株式会社フィジカル・アイ

代表取締役
足立 熱 氏

〒669-3312
丹波市柏原町田路29
☎ 0795-72-1301



その結果は想像以上だった。さらにSNSでのPRが奏功して、県外の観光客がサウナとコーヒーを求めてやって来るようになった。

「すべて順風満帆ではなく、これまで撤退した事業もあります。失敗を経験しているからこそ、今があると思います」。

では、今後の展開は？

「観光客を取り込む手段として宿泊施設をやってみたい。

融資活用コラム

信用保証協会を利用して運転資金を確保しました。

現状維持は衰退を意味します。飽き性というのもあり、常に新しいことに挑戦したいと考えています。「今だ！」という時が来たときのために、2025年7月、金融機関提携保証「飛躍」を利用しました。チャンスに備えているということで気持ちに余裕ができました。

それから、高齢の方に楽しんでいただくためのカラオケをやってみたいとも思っています」。

夢は膨らむ一方だ。その根底には、「皆がいつまでも健康に暮らすことができるよう」いう祈りにも似た熱い思いがあることはいうまでもない。

わが社の とっておき



サウナとコーヒーをドッキングさせると面白いと考えて、「豆labo」とサウナをロープでつなぎ、注文の品を滑車で届けるサービスをしています。名付けて「空飛ぶ宅急便」。コーヒーは、世界で流通する豆の約5%の希少豆を使っており味は太鼓判。「サウナで整いながら飲むコーヒーは最高」と大好評です。



（令和7年10月／保証状況）

(単位：件、百万円、%)

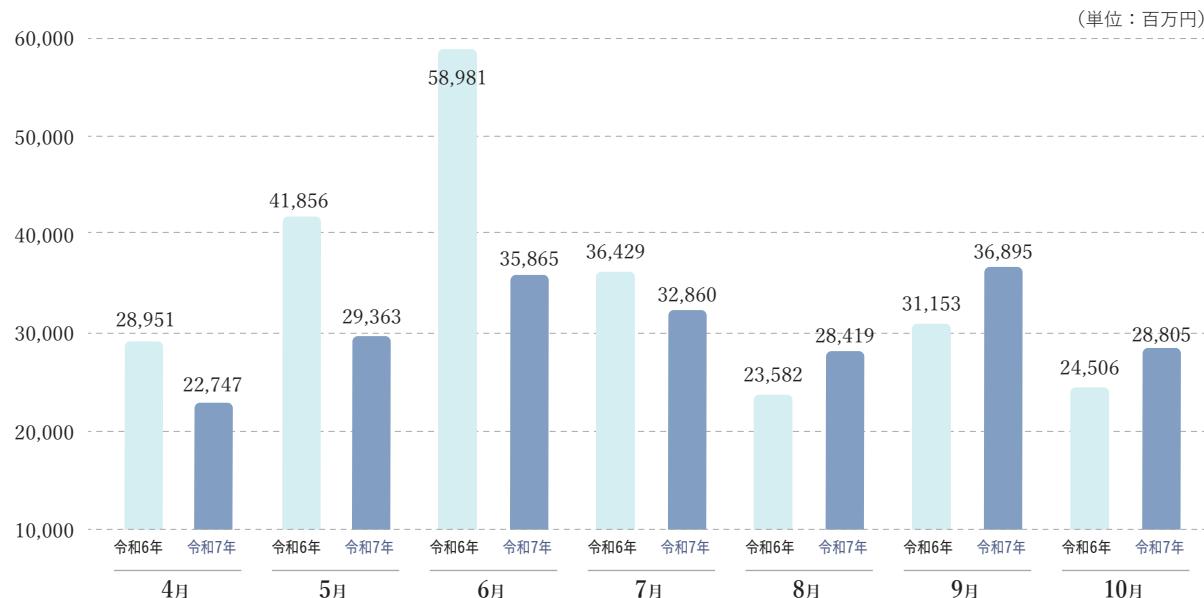
	当月中				当期中			
	件数	前年比	金額	前年比	件数	前年比	金額	前年比
保証申込	1,837	108.1	30,034	114.5	14,142	95.9	232,698	88.6
保証承諾	1,751	109.2	28,805	117.5	13,200	94.0	214,954	87.6
保証債務残高	—	—	—	—	125,140	100.5	1,610,524	95.4
代位弁済(元利)	206	119.1	2,768	137.2	1,326	101.7	16,548	116.8
実際回収(元損)	—	—	664	123.4	—	—	4,902	136.5

1 保証承諾

10月の保証承諾は1,751件(前年同月比9.2%増)、28,805百万円(同17.5%増)となり、前年同月と比べ、件数で147件、金額で4,299百万円上回った。

また、保証申込は1,837件(同8.1%増)、30,034百万円(同14.5%増)となり、前年同月と比べ、件数、金額ともに上回った。

保証承諾（前年比較）



資金使途別

10月の保証承諾のうち、運転資金は26,949百万円(前年同月比17.9%増)、設備資金は978百万円(同73.1%増)となり、前年同月と比べ、運転資金、設備資金ともに上回った。

業種別

10月の業種別保証承諾の状況は、不動産業1,445百万円(前年同月比40.6%増)、卸売業4,463百万円(同31.5%増)、小売業3,510百万円(同25.8%増)、建設業9,044百万円(同22.5%増)、運送・倉庫業1,349百万円(同21.7%増)、サービス業4,548百万円(同8.0%増)等で前年同月を上回り、製造業3,649百万円(同1.0%減)、飲食店645百万円(同16.8%減)で前年同月を下回った。

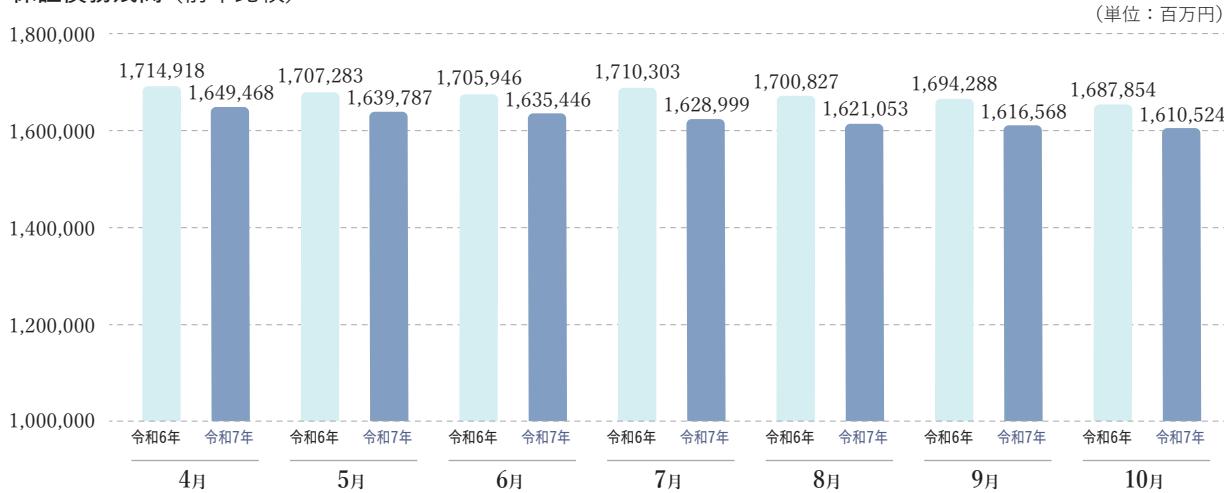
金融機関群別

10月の金融機関群別保証承諾の状況は、信用組合1,951百万円(前年同月比79.0%増)、都市銀行587百万円(同41.5%増)、地方銀行2,957百万円(同37.9%増)、信用金庫19,743百万円(同19.1%増)等で前年同月を上回り、第二地方銀行3,485百万円(同18.3%減)で前年同月を下回った。

2 保証債務残高

10月末の保証債務残高は、125,140件(前年同月比0.5%増)、1,610,524百万円(同4.6%減)となり、前年同月と比べ、件数は上回り、金額は下回った。

保証債務残高（前年比較）

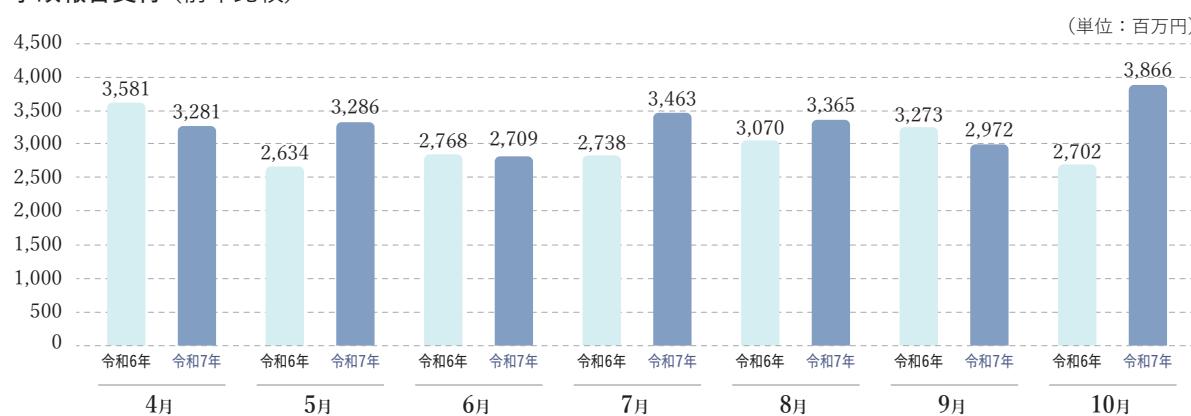


3 事故報告

10月の事故報告受付は、316件(前年同月比20.2%増)、3,866百万円(同43.1%増)となり、前年同月と比べ、件数は53件増加し、金額は1,164百万円の増加となった。

事故報告残高については、10月末で1,293件(同10.7%増)、14,655百万円(同11.9%増)となり、前年同月と比べ、件数、金額ともに上回った。

事故報告受付（前年比較）



4 代位弁済

(元利)

10月の代位弁済は、206件(前年同月比19.1%増)、2,768百万円(同37.2%増)となり、前年同月と比べ、件数は33件増加し、金額は750百万円の増加となった。

代位弁済（前年比較）



信用保証をご利用できる方

以下①～④のいずれにも該当している事業者の方が信用保証をご利用できます。

① 資本金または従業員数のいずれかが、右表の企業基準に該当していること。

特定非営利活動法人(NPO法人)の場合は、従業員数(製造業等:300人以下、卸売業・サービス業:100人以下、小売業・飲食業:50人以下)が該当していること。

②個人の場合は、兵庫県内に住居、事務所または営業所を有し、事業を営んでいること。

法人の場合は、兵庫県内に本店または事業所を有し、事業を営んでいること。

③許認可等を必要とする事業の場合は、当該事業に係る許認可等を申込人名義で受けていること。

④事業上必要とする運転資金または設備資金であること。

業種・営業形態などにより、ご利用いただけない場合もございます。

詳しくは、当協会窓口までお問い合わせください。

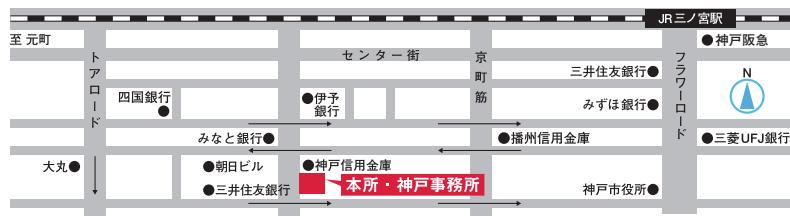
兵庫県信用保証協会のネットワーク

本所・神戸事務所

〒651-0195 神戸市中央区浪花町62-1

本 所 : TEL 078-393-3900(代表)

神戸事務所 : TEL 078-393-3909 [担当地域] 神戸市

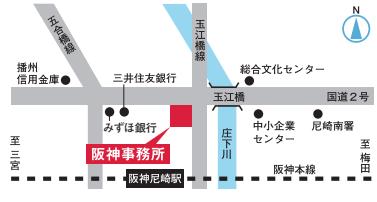


阪神事務所

〒660-0881 尼崎市昭和通3-96 尼崎商工会議所会館3F

TEL 06-6411-4133(代表)

[担当地域] 尼崎市、西宮市、芦屋市、伊丹市、宝塚市、川西市、三田市、川辺郡

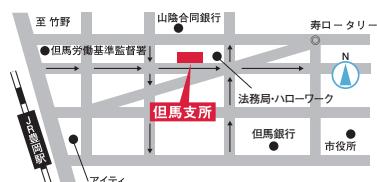


但馬支所

〒668-0024 豊岡市寿町8-7

TEL 0796-22-5171

[担当地域] 豊岡市、養父市、朝来市、美方郡

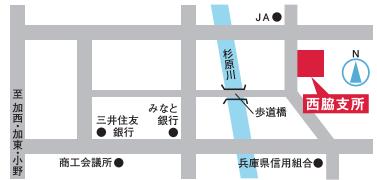


西脇支所

〒677-0015 西脇市西脇885-27

TEL 0795-22-6775

[担当地域] 西脇市、三木市、小野市、加西市、丹波篠山市、丹波市、加東市、多可郡



暴力団等の反社会的勢力とは取引いたしません。

第三者が介在・介入する申込はお断りします。

業種	資本金	従業員数
製造業等※1	3億円以下	300人以下
ゴム製品製造業※2	3億円以下	900人以下
卸売業	1億円以下	100人以下
小売業・飲食業	5,000万円以下	50人以下
サービス業	5,000万円以下	100人以下
ソフトウェア業	3億円以下	300人以下
情報処理サービス業		
旅館業	5,000万円以下	200人以下
医療法人等		300人以下

※1 建設業、運送業、不動産業、旅行業を含みます。

※2 自動車または航空機用タイヤ及びチューブ製造業並びに工業用ベルト製造業を除きます。

国家戦略特区において商工業とともに農業を営む方も信用保証をご利用いただけます。

お客様総合相談室

本 所	大瀧室長	TEL 078-393-3905
-----	------	------------------

本所・事務所・支所のお客様総合相談窓口

本 所 経営支援部	岩永副部長	TEL 078-393-3920
神戸事務所	三宅副所長 (保証相談一課、二課、三課)	TEL 078-393-3909
	佐藤副所長 (調整相談一課、二課)	TEL 078-393-3915
阪神事務所	按田副所長	TEL 06-6411-4133
姫路事務所	中元副所長	TEL 079-289-3611
但馬支所	岩崎次長	TEL 0796-22-5171
淡路支所	岩川次長	TEL 0799-22-4493
西脇支所	兼田次長	TEL 0795-22-6775
加古川支所	松田副所長	TEL 079-424-1105

代位弁済後のご返済等に関する お客様総合相談窓口

管 理 部	岡本副部長	TEL 078-393-3914
-------	-------	------------------

(上記担当者が不在の場合は、代理の者が対応させていただきます)

● 事業承継をお考えの皆さまへ

事業承継相談窓口

☎ 078-393-3962

(経営支援部 生再生発展支援課内)

● 女性企業家の皆さまへ

女性企業家相談窓口

☎ 078-393-3910

(経営支援部 生再生発展支援課内)

● これから事業を開始する皆さまへ

創業準備相談窓口

☎ 078-393-3912

(経営支援部 生再生発展支援課内)

● 事業経営全般に関する相談について

経営サポート相談窓口

☎ 078-393-3969

(経営支援部 生再生発展支援課内)

保証時報の送付について
ご希望の方に保証時報を毎月送付いたします(送料は当協会が負担)。ご希望の方は総務企画部企画調整課(☎ 078-393-3922)までお申し出ください。

当協会はサンテレビの情報番組「あんてなサン」の番組スポンサーをしています



あんてなサン (サンテレビ)

毎週日曜日/22時~22時30分放送